

かながわ トクトクキャンペーン! **かなトク!**

神奈川県では、長引く物価高騰により影響を受けている消費者や県内事業者を支援するため、還元総額180億円のキャッシュレス版「かながわトクトクキャンペーン! (愛称: かなトク!)」を、令和8年6月19日(金)から開始しています。対象のキャッシュレス決済はスマホ決済を利用するだけで、中小・小規模の店舗では決済金額の20%にあたるポイントが還元されます。(大手企業のポイント還元率は10%) 県内の小売店・飲食店・サービス業など幅広い店舗が対象で、10万店舗以上でご利用いただけます。



詳細は
こちら



対象となるキャッシュレス決済サービス



※対象店舗により、対応できる決済手段は異なります。

新たな防災気象情報が5月末から提供開始

新しい「防災気象情報」では、「5段階の警戒レベル」に相当する情報の名称が大きく変わりました。まず、現象ごとに「河川氾濫」「大雨」「土砂災害」「高潮」の4つのカテゴリに分け、それを示す名称がつけられました。さらに、情報毎に「警戒レベル」が明記され、求められる避難行動や切迫性がどの段階にあるのかとらえやすくなりました。

警戒レベル	河川氾濫 1級河川などの大河川の氾濫	大雨 低地の浸水や大河川以外の氾濫	土砂災害 急傾斜地のがけ崩れや土石流	高潮 海面の上昇や波の打上げによる浸水	(警戒レベルごとの) 住民がとるべき行動
5相当	氾濫特別警報	大雨特別警報	土砂災害特別警報	高潮特別警報	命の危険 直ちに安全確保!
~~~~~ 警戒レベル4までに危険な場所からかならず避難! ~~~~~					
<b>4相当</b>	氾濫危険警報	大雨危険警報	土砂災害危険警報	高潮危険警報	<b>危険な場所から全員避難</b>
<b>3相当</b>	氾濫警報	大雨警報	土砂災害警報	高潮警報	<b>避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など</b>
<b>2</b>	氾濫注意報	大雨注意報	土砂災害注意報	高潮注意報	<b>避難行動を確認</b> (避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど)
<b>1</b>	早期注意情報				<b>災害への心構えを高める</b>

新しい防災気象情報の情報体系とその名称

yoshinaka_ozawa

FOLLOW

likes

**おざわ良央**  
**Instagram**  
始めました!

yoshinaka_ozawa

おざわ良央のインスタをフォローして日々の活動をチェックしよう!

このアイコンが目印です!

発行: おざわ良央事務所 〒250-0042 神奈川県小田原市荻窪 166  
☎0465-35-0001 📠0465-35-4666 🌐ozawayoshinaka.com

## 3期12年の総仕上げ!

日頃より、おざわ良央の県政活動に対し温かいご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

世界では緊迫するイラン情勢など国際情勢が不安定さを増しており、その影響によるエネルギー価格や物価の上昇が、私たちの日常生活にも大きな影響を及ぼしています。特に食料品やガソリン価格の高騰は家計への負担を増大させており、地域経済や中小事業者を取り巻く環境も厳しさを増しています。こうした状況だからこそ、県民生活に寄り添った現実的な支援策を着実に進めていく必要があります。

神奈川県議会では、令和8年度当初予算総額4兆8,747億円を可決しました。防災・減災対策、子育て支援、教育環境の充実、地域医療体制の強化など、県民の安心安全を支える施策が盛り込まれております。一方で、人口減少や少子高齢化が進む県西地域では、

地域経済の活性化や若い世代の定住促進など、将来を見据えた取組がますます重要となっています。

2月の県議会一般質問において、小田原・県西地域の課題を中心に、公共施設の最適化、防災対策、県立高校における理系人材の充実などについて県当局と議論を重ねてまいりました。

本年度もまた、環境農政常任委員会委員長等与えられた役職をもとに、3期12年の節目の年を地元小田原や県西地域の発展に向け力を尽くす覚悟です。

今後も地域の声を丁寧に県政へ届け、「住みたい、住み続けたい小田原・県西地域」の実現に向け、全力で取り組んでまいります。引き続き、ご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

新役職決定!  
2026年度

神奈川県議会

環境農政常任委員会 委員長  
予算委員会 委員  
議会改革検討会議 委員

神奈川県

神奈川県国土利用計画審議会 委員  
自民党 神奈川県連 副幹事長



NEWS ご報告 来年4月、統一地方選挙

5月30日の自民党県連総務会で、令和9年度4月に施行されます神奈川県議会議員選挙(小田原市選挙区)において自民党公認を得ました。

# 神奈川県議会議員 おざわ良央

よしなか

# おだわらの 未来へ



本紙に記載できなかったおざわ良央の質疑応答の全容は動画でご覧いただけます。おざわ良央の声で問う、神奈川や県西地域の問題点・改善点です。ぜひご確認ください。



小田原市をはじめとする県西地域が直面する課題や、将来を見据えた広域的な取組について、黒岩知事そして、関係局長、教育長と議論を交わしました。主なやり取りの概要をご報告いたします。

## 1 公共施設の最適化に向けた県の取り組みについて



人口減少が進む中、複数の市町村と連携し公共施設を整備・管理する広域連携の視点も重要と考えるが



県ではこれまで、同一区域内の国・県・市町村の公共施設を同居化する「垂直連携」を進めてきたが、今後は市町村間での「水平連携」も重要と考える。現在、各市町村にヒアリングを行っているが、施設の統廃合には利害調整の難しさがある。こうした課題を踏まえ、県が広域自治体として調整役を担い、今後はより積極的に力を入れ支援していく。また、必要性を感じていない市町村にも将来を見据えた検討を促していく。

## 2 富士山噴火時の降灰対策について



国の富士山噴火時の降灰対策ガイドラインでは、具体的な対策検討は自治体に委ねられているが、県はどう取組むのか



国のガイドラインでは、原則として自宅待機、降灰 30 cm 以上で避難とされている。県では令和 7 年度末に避難指針を改定し、広域避難の調整など県の役割を明確化する。また、市町村と連携した訓練を実施し実効性を高める。さらに、灰の処理については県単独では難しいため、山梨・静岡両県や国と連携し、処理方法や仮置き場の確保など、共通のガイドラインを策定していく。



### その他に

- 防災知識・意識の向上に向けた取り組みについて
- 地域の資源を活用した外国人観光客の誘致について
- 自転車の交通違反に対する交通反則通告制度の導入に向けた取組について

以上を質問いたしました。

## 3 県西地域におけるニホンジカ被害対策について



年々増加する県西地域でのニホンジカ対策にどのように取り組むのか



県西地域での県や市町の捕獲数は年々増加しているが農作物被害は継続し、森林内ではシカの食害によりササなどの衰退も見られる。国も捕獲を始め、静岡県も捕獲を強化、今後は森林組合などにも捕獲の協力要請を検討している。

## 4 下曽我・殿沢踏切の拡幅整備について



休止した下曽我・殿沢踏切の拡幅事業は交通安全等を考えると拡幅が必要と考えるが



地域から踏切改善要望があり、小田原市も地元調整し事業見込みが立った。県では令和 7 年度末改訂の『かながわの道づくり計画』にこの踏切を位置付け、改めて拡幅工事に取り組むこととし、令和 8 年度から現地調査に着手したいと考えている。

## 5 県立高校における理系人材の育成について



国では成長分野である AI・デジタル等の理系人材の大学入学者定員を増やしているが



国では理系人材の不足に対応し、2040 年に文系・理系の割合を同程度にする目標を掲げた。県教育委員会では今までの取り組みに加え文系・理系を融合させた探求的な学びを進める拠点校を選定し、将来の理系進学者拡大につなげてまいります。